鈴鹿市ファミリー・サポート・センター広報誌 第45号
2026年秋号

ぱおぱお

スキルアップ講座

10/7(水)「交通安全講習」を開催しました。参加者10名、交通安全協会職員より安全に送迎するための交通ルールや注意点、チャイルドシートの必要性を学びました。





新しいルール等、曖昧だったことを分かりやすく説明していただいてよかったです。

会員数	2026.10.8現在
依頼会員	841名
提供会員	175名
両方会員	25名
計	1041名



「こどもまんなか社会」って 連休に一人で過ごすこどもたち…

今、日本では「こどもまんなか」という言葉がこども支援や子育て支援の場で掲げられていますが、いざ連休や祝日になると、社会のインフラや制度が備わっていないことが浮かび上がってきます。医療や介護、福祉、流通、接客など、日曜や連休中も社会を支えるために働いている親御さんはたくさんいます。北欧や欧米諸国は、休日保育所、休日学童の開所などが備えられているのに比べ、日本では利用できる地域は限定的です。親がお互いの仕事の調整などにより、こどもと過ごすことが当たり前になれば、「留守番をするしかない」こどもたちがいる現実に胸を痛めなくて良いのになと、大型連休やこどもの長期休みにいつも思います。北欧の様に、何十年もかけて「親が働く以上、休日のこどもの居場所の補償は社会の責任」という権利の観点から制度を変えてきたことを日本でも早急に望みますが、一朝一夕で制度ができるわけにはではありません。

ファミリー・サポート・センターでは日曜、祝日など保護者の仕事などによる預かりの依頼を受けます。提供会員とこどもは、一緒に遊びゆったり一日を過ごしながら親御さんの帰りを待ちます。「楽しかった。又、○○さんと遊びたい」と言うこどもの顔を見て安心する親御さんは多いと思います。活動を通して提供会員とこども、親が信頼関係を作り上げて行くことは、その後の人生にとってもプラスになると信じています。ですが、依頼するには利用料金が必要。残念ですが、今の日本では利用できる人は限られてしまいます。こどもの安心な居場所のために国が補助を出すなど、この国が本気で「こどもまんなか社会」を目指すのであれば、単なる理念や言葉だけでなくこうした公的サポートや休日勤務に対する働き方の改革といった、困りごとに直結する具体的な制度へ予算と人材をつけて欲しいと声をあげていかなければいけないと思います。

鈴鹿市ファミリー・サポート・センター

鈴鹿市ファミリー・サポート・センターは、特定非営利活動法人こどもサポート鈴鹿が鈴鹿市より委託を受け運営している事業です。

令和8年度第1回　提供会員養成講座の感想をご紹介します!

こどもの権利



こどもの権利という言葉は聞いたことはありますが、実際自分たちとどう関係があるかは浸透していないということがわかり、自分のこどもにも伝えてきたいと思います。

こどもの遊びと生活

とても勉強になるお話でした。年齢によって遊びの捉え方が違うことが面白かったです。こどものことを観察して遊びの種を拾いたいと思いました。それが「人生の生きやすさ」になるということは本当に大きい事だと感じました。



こどもの病気

スライド以外でも具体的エピソードや詳細な説明をしてくださったので理解しやすかったです。質問にも丁寧に答えてくださり、ワクチンの安全性の向上と必要性を理解できたので、うてるワクチンは体調をみながらこどもに接種できたらいいなと思います。

こどもの栄養

何気なく栄養バランスを考えながらご飯の献立を考えたつもりでしたが、今回の講座を聞いて1日のカルシウムの量や食品のバランスをきちんと把握して作っていく必要があったと気づけました。これからを生きていくこどもの身体をつくる食事についてとても良い話が聴けました。

小児看護

資料も単元ごとにしっかりと記載してあり、とても分かりやすかったです。出典資料も新しいものが多くよかったです。内容の組み立てもこどもを取り巻く環境から入られて、なお分かりやすかったです。

こどもの発達とこころ

こどもにとって、理論的な説明を受けて、自分が思っていた以上の広範囲な部分まで愛着の形成が影響するのだと感じました。自分の子どもが周りの顔色を気にしすぎず、自分らしく生きていけるよう、この講義で学んだことを活かしていきたいと思います。また、もし誰かを支援する立場になれるのなら、こどもにありったけの愛情を注げる余裕が生まれるようにサポートしたいなとも思います。

こどもの安全と対応



1分間に100～120のリズムを覚えたい。1秒間に1回の人工呼吸。鼻をつまんだままとおぼれたのと同じだと初めて知りました。毎回新しい気づきや覚えることがあるので、なるべく参加したいです。

虐待と社会的養護

種々の虐待に驚きました。サポート登録をしていても実際の活動にはハードルがありましたが、今からでも何かの手助けが出来るように思います。

気になるこどもの支援

親は何気なくよかれと思って、周りと同じことをすることや、発達に良いおもちゃ遊びを提供しがちかな思いますが、本人が選び本人が満足をえられるようなアプローチの大切さを学びました。その子の性格、特性をみながらこどもと親の支援方法を考えていく必要があると感じ、活かしたいと思います。

子育て支援の必要性

市のこどもに関する状況や、市の取り組みを説明してもらい理解することができました。厳しい部分もありましたが、少しでもお役立ちができるようにしたいと思います。



活動費について

依頼会員と提供会員の相互援助活動において、援助終了後、規定の報酬等を支払っていただきます。支払いについて、相互でやりとりをしていただくことをお願いしています。お預かりや自宅お迎えの場合は、ご自宅に用意していただく事が可能ですが、送迎の場合は依頼会員にお会いすることが困難な為、ペイペイのやりとりや場合によっては、1人ずつ封筒に入れて事務所に持参されることもあります。相互援助活動の紹介をしたいと思います。



提供会員1人ずつの封筒に絵をかいてくれるNちゃん（小学2年生）



活動の様子

依頼会員のHさんより

私は、毎日の送迎を依頼しているので、たくさんの提供会員さんたちに助けていただいていて、とても感謝しています。初めは、娘がちゃんと挨拶や話が出来るのかと心配していましたが、提供会員さんは子どもとの接し方に慣れていて安心してお願いすることができています。家族や先生とは違う大人の人と関わってもらうことで、娘の成長があることも嬉しいです。ワークライフバランスを考えて選んだ仕事を続けていられるのは、たくさんの人たちに助けてもらえているからで、尊敬と感謝でいっぱいです。

Nちゃん（小学2年生）より

ママが毎日、仕事だから学童に連れて行ってくれてありがとう。最初は、緊張したけど今は慣れてるから、大丈夫になってきて嬉しいよ。車の中でお話ししてくれて、楽しいよ。いつも一緒の人じゃないけど、違う人とお話できるのも楽しいよ。一年生の頃も、お迎えに来てくれてありがとう。一年生の頃も今も楽しいよ、ありがとう。

提供会員のIさんより

⑴ 提供会員に登録したきっかけは

自分が子育ての時、周りに助けられたので、今度は自分が少しでも役に立てるならと思い登録しました。

⑵ 提供会員をするにあたって、ご自身が大切にしていることは

大切なお子さまをお預りするので、最後まで安全を心がけています。

⑶ 活動してみた感想

いろいろなお話をしてくれたり、自分の子どもが小さかった頃を思い出しながら楽しい時間が過ごせるのが嬉しいです。

ご参加お待ちしています!

令和8年度　第2回　鈴鹿市ファミリー・サポート・センター提供会員養成講座

月　日	時　間	講座内容	講師（敬称略）
11月4日（水）ジェフリーすずかホール	①10:00～12:30	こどもの発達とこころ	一般社団法人三重県公認心理師会・前会長　仲　律子
	②13:30～15:30	虐待と社会的養護	三重県市町児童相談アドバイザー　鈴木　聡
11月5日（木）ジェフリーすずかホール	③ 9:30～12:00	こどもの病気	小児科医　駒田　幹彦
	④13:00～15:30	こどもの遊びと生活	三重大学教育学部幼児教育コース教授　富田　昌平
11月11日（水）ジェフリーすずかホール	⑤10:00～12:00	気になるこどもの支援	クローバーの家　施設長　真弓　はるみ
	⑥13:00～16:00	こどもの栄養	管理栄養士　馬場　啓子
11月12日（木）ジェフリーすずか研修室AB	⑦10:30～12:30	こどもの権利 提供会員の役割と心得	こどもサポート鈴鹿　理事長　嶋　かをり
	⑧13:30～16:00	小児看護	鈴鹿医療科学大学看護学部　小児看護学教授　倉田　節子
11月13日（金）ジェフリーすずかホール	⑨ 9:30～12:30	こどもの安全と対応	日本赤十字社　吉田　由佳
	⑩13:30～14:30	子育て支援の必要性	こども政策課
	⑪14:30～15:00	登録について	アドバイザー
	⑫15:00～16:00	養成講座まとめ	アドバイザー

鈴鹿市ファミリー・サポート・センターのしくみ



※提供会員とお預かりするこどもにはセンターとして「サービス提供会員傷害保険、依頼子供傷害保険」に加入しています。（会員の負担はありません）

依頼会員登録について

- ●市内に在住または通勤・通学し、おおむね小学生以下のこどもをお持ちの方
- ●登録に来られる前には必ずお電話下さい。
- ●会員登録（無料）に必要なもの
  - ・健康保険証（こども）
  - ・登録者の写真2枚（縦3cm×2.5cm）

利用料金

	7:00～19:00	19:00～7:00
通常の利用（前日までの依頼受付）	800円／時間	900円／時間
緊急時の利用（当日又は時間外の依頼受付）	1,200円／時間	1,400円／時間

- ・年末年始（12/29～1/3）の利用
  - 12/28までの時間内受付　1,200円／時間
  - 12/29～1/3の受付　1,400円／時間
- ・宿泊の利用
  - 22:00～翌6:00（連続8時間）1回 6,000円

※受付は月～金曜日の8:30～19:00です。これ以外の時間帯に受け付けた依頼は「緊急時の利用」扱いとなります。

〔お問い合わせ先〕

鈴鹿市ファミリー・サポート・センター

〔特定非営利活動法人こどもサポート鈴鹿内〕

受付／月曜日～金曜日　8:30～19:00
（土曜日、日曜日、祝日、年末年始はお休み）

TEL&FAX 059-381-1171

〒513-0817　鈴鹿市桜島町六丁目20-3
http://www.mecha.ne.jp/~suzu-fsc

